

今週の株式相場見通し

* 日経平均 28,000~29,600円 TOPIX 1,950~2,040
 * 期待材料 年明けの新規資金流入 オミクロン株に対する警戒感後退 RCEP 発効
 * 不安材料 地政学的リスク オミクロン株の感染拡大 岸田政権による反市場的な政策

12月15日以降、FRBによるテーパリング(量的緩和の縮小)の加速、英中銀による利上げ発表、さらにECBと日銀もコロナ禍に対応すべく導入した緩和策の縮小を決定するなど、主要各国・地域の中央銀行が金融引き締め策を発表した。さらに、新型コロナオミクロン株の各国における感染拡大と経済活動の制限措置、ロシアと欧米間の緊張の高まり、マレーシア等の洪水による一部企業の被災といった悪材料に事欠かないなかで、日米の株式市場は堅調な展開となっている。株価が堅調に推移する最大の理由は、株式市場関係者の米国経済に対する強い信頼感にあると思われる。もっとも、複数の海外大手証券は来年の投資先としては、米国よりも日本の方が有望であると見ている。日本株を有望とみる論拠としては、バリュエーション面での出遅れ感、コロナ禍からの回復局面に転じることが期待されるなかで、世界の景気敏感株として位置づけられる日本株への注目度向上、日米の金融引き締めスタンスの差がもたらす円の先安感、日本の中核産業である自動車の回復などが挙げられる。欧米大手証券による来年TOPIXの目標値は総じて2,250ポイントとなっており、22日の終値に対しては14%程度の上昇を見込んでいる。この2,250ポイントに、22日時点のNT倍率(日経平均とTOPIXの比率)14.49倍を適用すると、日経平均は約32,600円となる。この水準は、アベノミクス以降の平均PERが14倍台半ば、来期の市場予想EPSが2,280円程度であることを踏まえると違和感はない。22年の日本株固有の懸念材料としては、岸田首相が意欲を示す反市場的な政策が決定された場合にPER水準が低下することを想定する。(12月23日現在、多功 毅)

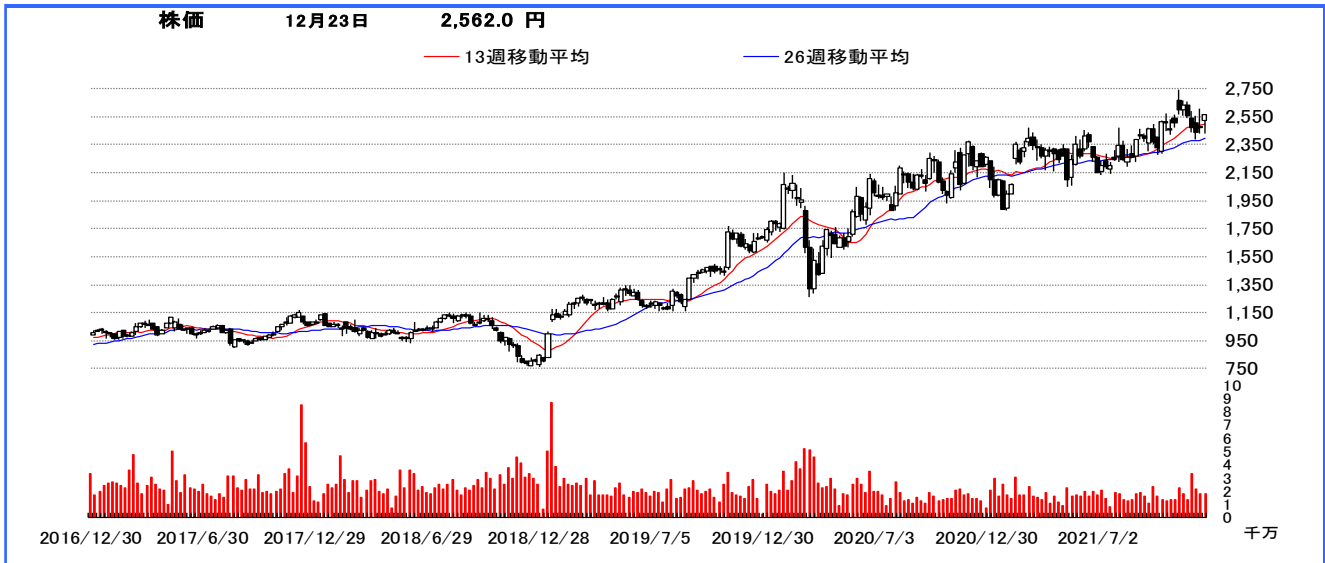
今週の予定

	国内	海外
12/27 (月)	決算：アダストリア(2685)、あさひ(3333)、オークワ(8217)、しまむら(8227)など	[英、加、豪、ニュージーランドなど]ボクシング・デーのため休場(~28日)
28(火)	11月鉱工業生産(8:50)	[台湾]セミコン台湾(~30日)
29(水)	日経平均から日通を除外	[米]MBA住宅ローン申請指数(21:00)
30(木)	東証などの取引所大納会	[米]前週分新規失業保険申請件数(22:30)
31(金)	大晦日	[中]12月製造業・非製造業PMI(10:00)
1/1 (土)	元旦 RCEP 発効	[UAE]週末を土日に変更 [仏]2022年上半期のEU議長国に就任
2(日)	箱根駅伝往路	ダカールラリー(~14日)
3(月)	箱根駅伝復路	[米]J&Jに新CEOが就任
4(火)	取引所大発会 決算：クスリのアオキHD(3549)	[中]12月財新製造業PMI(10:45) [米]12月ISM製造業景況指数(24:00)
5(水)	日経平均にNIPPON EXPRESS HD採用	[米]12月ADP雇用統計(22:15)
6(木)	決算：アークス(9948)など	[米]12月ISM非製造業景況指数(24:00)
7(金)	決算：ウエルシアHD(3141)など	[米]12月雇用統計(22:30)
8(土)	外国郵便の日	[印]INDUS FOOD F&B2022(~10日)
9(日)	大相撲 初場所(~23日)	[米]ゴールデン・グローブ賞授賞式
10(月)	成人の日	[欧]11月失業率(19:00)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄 **オリンパス (7733)** 東証1部



20年3月期 (百万円)		21年3月期 (百万円)		22年3月期(予) (百万円)		株価(12/23)	2,562.0 円
	前年比		前年比		前年比	業種	精密機器
売上収益	755,231	730,544	-3.3%	856,000	17.2%	時価総額	33,288 億円
営業利益	92,200	81,985	-11.1%	144,000	75.6%	PER(予想)	30.20 倍
税引前利益	86,617	76,810	-11.3%	139,000	81.0%	PBR(実績)	7.38 倍
当期純利益	51,670	12,918	-75.0%	109,000	743.8%	ROE(実績)	3.38 %
EPS(円)	39.37	10.05		84.78		配当利回り(予想)	0.54 %
配当金(円)	10	12		14		担当	志田 憲太郎

20年3月期は事業売却の影響を避及修正している

出所: 業績に関する数値は決算短信より

事業セグメントは、内視鏡事業、治療機器事業、科学事業、その他。21年1月にデジタルカメラなどの映像事業を譲渡。21年12月には科学事業の分社化を発表。22年3月期2Q累計(4-9月)決算は前年同期比30.5%増収の4,131億円、営業利益は2.5倍の763億円、最終利益は624億円の黒字転換。消化器内視鏡でシェア70%を超える内視鏡事業は前期比28.7%増収、コロナ禍前の20年3月期比でも8%の増収。上期として営業利益は率、額ともに過去最高を更新。営業利益率について20%以上を経営目標のひとつに挙げているが、上期営業利益率は27.9%となっている。処置具などを展開する治療器事業では、症例数が中国、欧州を中心に全ての地域でプラス成長となり、上期は前期比31%増収、20年3月期比でも5%成長した。営業利益率は22.7%。生物顕微鏡や超音波探傷器などの科学事業は前期比32%増収、20年3月期比では2%減収。営業利益率は12.2%だった。航空産業向けなどの回復は緩やかだったが、大学、研究所の予算執行が順調に進んだ。下期は上期の実績を踏まえ上方修正。売上は通期で20年3月期を超える水準、営業利益は過去最高を見込む。内視鏡、治療機器が過去最高の成長でけん引する。また、今期分については部材調達に問題はないとしたほか、中国の国産優遇策の大きな影響はないとしている。最新の内視鏡システムである「EVIS X1」は欧州、アジア一部地域、日本で成功を収めており、来期に北米で発売を目指すほか、中国での発売も目指すなど、より大きな市場での展開が期待できる。また内視鏡を介した感染リスクが少ない利点などから、国内外で急成長しているシングルユース(1回のみ使用する使い捨て型)内視鏡にも参入した。現時点ではシングルユースで当社は後発組であり気管支鏡のみの発売であるが、来年以降、胆管鏡、尿管鏡などにも進出予定で、シングルユース、リユース(繰り返し使う)の両方を提供できる唯一の会社として選択肢を提供していく。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

2021年12月27日、2022年1月4日合併号

調査室

特集 銘柄スクリーニング(対象：東証1部以外)

銘柄コード	銘柄名	市場	株価 (12/21)	今期				来期		
				決算期 年/月	経常利益 (会社) [百万円]	経常利益 (東洋経済) [百万円]	乖離率 東洋経済 予想と 会社予想	決算期 年/月	経常利益 (東洋経済) [百万円]	増益率 東洋経済 予想
6046	リンクバル	東マ	265	22/9	1	50	4900.0%	23/9	500	900.0%
2323	fonfun	東JQ	304	22/3	6	40	566.7%	23/3	60	50.0%
6303	ササクラ	東2	2,636	22/3	150	500	233.3%	23/3	600	20.0%
3977	フュージョン(注2)	札ア	1,379	22/2	5	15	200.0%	23/2	20	33.3%
7647	音通	東2	26	22/3	2	5	150.0%	23/3	100	1900.0%
9878	セキド	東2	989	22/3	130	310	138.5%	23/3	410	32.3%
6570	共和コーポ	東2	464	22/3	127	300	136.2%	23/3	400	33.3%
3136	エコノス	札ア	494	22/3	32	70	118.8%	23/3	90	28.6%
5983	イワブチ	東JQ	5,350	22/3	340	720	111.8%	23/3	740	2.8%
4645	市進HD	東JQ	444	22/2	429	900	109.8%	23/2	1,000	11.1%
4019	スタメン	東マ	741	21/12	22	40	81.8%	22/12	100	150.0%
4960	ケミプロ	東2	287	22/3	220	400	81.8%	23/3	450	12.5%
7555	大田花き	東JQ	741	22/3	107	190	77.6%	23/3	210	10.5%
2436	共同PR	東JQ	995	21/12	200	350	75.0%	22/12	400	14.3%
9272	プティックス	東マ	2,532	22/3	201	350	74.1%	23/3	500	42.9%
3791	IGポート	東JQ	1,653	22/5	135	235	74.1%	23/5	330	40.4%
7923	トーイン	東JQ	500	22/3	60	100	66.7%	23/3	200	100.0%
4995	サンケ化	福	1,400	21/11	211	350	65.9%	22/11	370	5.7%
2653	イオン九州	東JQ	2,095	22/2	3,400	5,600	64.7%	23/2	5,800	3.6%
6360	東自機	東2	1,644	22/3	300	490	63.3%	23/3	620	26.5%
7318	セレンHD	東マ	1,019	22/3	249	400	60.6%	23/3	550	37.5%
7073	ジェック	東マ	2,581	22/1	88	140	59.1%	23/1	310	121.4%
4480	モデル(注1)	東マ	2,315	21/12	430	680	58.1%	22/12	1,420	108.8%
5962	浅香工	東2	1,851	22/3	160	250	56.3%	23/3	270	8.0%
5753	日伸銅	東2	1,887	22/3	1,400	2,050	46.4%	23/3	2,400	17.1%
7064	ハウテレ	東マ	1,919	22/1	7	10	42.9%	23/1	300	2900.0%
7129	ミアヘルサ	東JQ	1,077	22/3	210	300	42.9%	23/3	530	76.7%
3824	メディア5	福Q	659	22/5	7	10	42.9%	23/5	50	400.0%
4175	コリー	東マ	2,262	22/1	1,530	2,170	41.8%	23/1	2,200	1.4%
6838	多摩川HD	東JQ	961	22/3	297	420	41.4%	23/3	600	42.9%
7602	カーチスHD	東2	229	22/3	250	350	40.0%	23/3	600	71.4%
3177	ありがとうS	東JQ	2,050	22/2	358	500	39.7%	23/2	550	10.0%
3961	シルバエッグ	東マ	971	21/12	144	200	38.9%	22/12	240	20.0%
9311	アサガミ	東2	3,955	22/3	1,225	1,700	38.8%	23/3	1,800	5.9%
7895	中央化学	東JQ	385	22/3	1,100	1,500	36.4%	23/3	1,700	13.3%
7896	セブン工業	東2	506	22/3	220	300	36.4%	23/3	310	3.3%
4635	東インキ	東2	2,276	22/3	890	1,200	34.8%	23/3	1,400	16.7%
3437	特殊電極	東JQ	2,302	22/3	527	710	34.7%	23/3	810	14.1%
6943	NKK	東JQ	5,450	22/3	780	1,050	34.6%	23/3	1,100	4.8%
6955	FDK	東2	931	22/3	1,500	2,000	33.3%	23/3	2,400	20.0%

* 会社四季報新春号の発売に伴い、東証1部上場以外の企業を対象に、今期経常利益予想について東洋経済予想が会社発表予想を上回っており、東洋経済予想が来期についても増益予想となっている企業について12/22に検索したところ515銘柄が該当した。その中から今期経常利益予想について会社発表を東洋経済が上回る企業の乖離率上位40社を掲載している。なお、銘柄名の横に(注1)のついた銘柄の会社予想経常利益については、上限と下限予想の中間値を掲載しており、(注2)のついた銘柄の株価は、12/22現在の基準値を記載している。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990% (ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室